

目標1 二項対比で文章を整理できるようになる。(教科書を二色に塗ろう！)

目標2 筆者の不思議な比喻表現に慣れる。(そんな比喻必要なの？)

○二項対比 《特殊》－《普遍》の「具体」・「類語」を見つけていく。

普遍	(対)	特殊
	(同)	一般
	(具)	数字は普遍化した概念だ
	(換)	様々なものに通じる
特殊	(対)	普遍
	(同)	特異
	(具)	あなたは特殊な能力を持っている
	(換)	固有の 他とは違う

《特殊》

【両腕がある元のビーナス】

② 具象

③ 高雅と豊満の驚くべき合致を示しているところの、いわば美というものの一つの**典型**

※典型↔類型……具象的でありながら、普遍的

それらに比較して

③ その顔にしろ、その胸から腹にかけてのうねりにしろ、あるいはその背中 of 広がりにしろ、どこを見つめていても、ほとんど飽きさせることのない均整の魔が、そこにはたたえられている

③ 大理石でできた二本の美しい腕

③ **具体的**な二本の腕

③ 見事な二本の腕

《普遍》

【両腕を失ったビーナス】

① 彼女がこんなにも魅惑的であるためには、両腕を失っていなければならなかったのだ

② よりよく国境を渡ってゆく

② よりよく時代を超えてゆく

② 具象の放棄

② 全体性

③ 失われた両腕は、ある捉えがたい神秘的な雰囲気、いわば**生命の多様な可能性の夢**を、深々とたたえているのである。

③ 存在すべき無数の美しい腕への暗示

③ **全体性**